被災者の生活再建

いばらの道にしてはならない

東日本大震災から5年9ヶ月。被災者の生活再建は、厳しい現実に 直面しています。庄司あかり議員は、支援を訴えました。



復興公営住宅に入居6年目から 8割の世帯で 家賃値上げ!?

庄司議員「復興公営住宅に3060世帯が入居している。そのうち国の特別家賃低減事業で家賃減免されているのは2374世帯、実に78%にのぼる。この家賃低減事業は、10年間という期限があり、6年目から段階的に家賃を引き上げ、11年目からは本来家賃にしていくというものだ。家賃減免を受けている世帯は、月額所得8万円以下。(紹介した事例では)5年間で家賃が約3倍に引き上がる。

ところが市は、被災者に対し、6年目から 家賃が上がるなんて説明しておらず、説明 会資料でも『入居開始後10年間は下表(軽 減家賃額)のとおり』と書かれてある。入居

者は、6年目から値上げになるなんて認識していない。市は、いまの軽減されている家賃を10年間保障し、そのための独自の支援策をつくり、国を動かすべきだ」

都市整備局長「説明不足だった。今年度から説明していく」

半壊以上は73% が未修繕

庄司議員「市財政局が今年9月に行った被災家屋の修繕状況調査では、市内の半壊以上の住宅で『未修繕』は16,274件で、73%にのぼっている。いまなお、これほど多くの住宅が修繕も出来ず取り残されている。応急修理制度や公費解体を早々に打ち切ってしまったことや、経済的な事情で修繕できないというのが理由だ」

都市整備局長「住宅再建は、所有者自ら 行うのが原則」

庄司議員「復興計画期間が終わっても、復興基金は全体の3分の2、198億円も残している。被災者の直接支援にあてるべきだ」

沿岸部の防犯対 策は重要

庄司議員「被災跡地の活用が具体化するなかで、重要なのは、人が住まなくなった沿岸部の防犯対策だ。蒲生北部、荒浜では、不審火や不法投棄もある」

都市整備局長「安全・安心は、跡地利活用 の前提。利活用の事業者とともに検討する」

若林西住宅・2K(所得月額0円)の家賃は…

現在

6年目から段階的 11年目から

に引き上げ

5,100円 → 15,000円

宮城民医連による、被災者の聞き取り調査

医療費免除の復活は切実

庄司議員「宮城民医連は9月、県内復興公営住宅の訪問調査を行った。仙台市内では381件で聞き取りを実施した。家賃の支払いについて『大変苦しい』『苦しい』が合わせて4割を超え、被災者の医療費免除を「復活・継続してほしい」が74%を占めた。免除制度の復活は、

急務だ。『国がやるべき』というのは答えにならない。市の決断で復活を」

健康福祉局長「国の全額支援が確実に見通せないため、免除を再開する状況にはな



放射性廃棄物

県の焼却方針を拒否せよ

村井知事は、県内市町村が現在保管している、8000ベクレル(kg あたり)以下の放射性廃棄物を、いっせいに焼却処理する考えです。仙台市内の焼却施設に、他市町村の放射性廃棄物のほとんどが持ち込まれる見通しで、反対する声が高まっています。

庄司議員「奥山市長は、試験焼却に前向きだ。仙台市は昨年、市内の8000ベクレル以下の放射性廃棄物を焼却処理したが、市民や焼却場周辺の住民や農家から中止を求める声があがった。



環境対策費用は、汚染の原因者が第一次の負担者であるべきで、それは国際的なルールともなっている。発生させた責任は、東京電力にある。東電と国に管理の責任を取らせることこそ、真っ先に取り組むべきだ。いっせい焼却、そのための試験焼却に、きっぱり反対

すべきだ」

環境局長「8000ベクレル以下は、市町村が処理するものとされている。県全体の復興の上でも重要な課題。市民の安全安心を確保しながら検討する」

バス路線見直し増便を

庄司議員「地下鉄東西線が開業して1年がたった。バス路線は、地下鉄駅に無理やり結節させる再編が行われてきた。市長は、バス路線について『一年たったら見直す』と言ってきた。市民は、便利な路線への見直しを待ちわびてきた

のに、市は、見直ししないどころか、縮小する方向 だ」

奥山市長「バス路線の長距離化は、運行効率の 点でむずかしい」

庄司議員「広い仙台市域で長距離化は当然。東西線は、広い市域をカバーするものではない」

6歳までの 認可保育所は切実

庄司議員「11月7日から12月7日まで、来年度の保育所入所申し込みが行われた。第一次分は5553人で、昨年より377人増えている。

私の友人は、認可保育所へ申し込んだが、待機 児童となり、育休を延長している。小規模保育所 (3歳児まで)も見学に行ったが、3歳を前にまた 保育所さがしをすることなど考え、選択肢から外したと言っていた。公立も民間も、求められているのは6歳まで通える認可保育所の増設だ」

子供未来局長「3歳以降の適切な教育・保育の場の確保につとめる」

学校のトイレ改修とバリアフリー化急げ

庄司議員「若林小学校は、洋式トイレが少なく、来年就学予定の家庭は『これまで和式トイレを使ったことがないから練習させておかないといけないのか』と不安を抱えている」

教育長「トイレ改修は、着実に進めたい」

庄司議員「車いすを使用している子どもは小学校で28人、中学校で15人いる。うち、エレベーターがない学校に通っているのは24人いる」

教育長「エレベーターの重要性は認識している。校舎の増改築にあわせて順次整備していく」

市長の期末手当引き上げは問題

庄司議員「市長、副市長の期末 手当を引き上げる提案がなされている。市長分は、58万3998円上 げて年額632万6645円にするというものだ。市民には『財政難』といって負担増を押し付けながら、 期末手当の引き上げは、市民の納得を得られない。

議員の期末手当も引き上げる 提案だ。議長は44万3700円、副 議長は39万5850円、議員は36万 5400円引き上げる。反対を主張 した会派が共産党を含め複数あ ったにもかかわらず、当局はな ぜ、議案を提出したのか」

奥山市長「復興期間に一定の 経過をみた。今回の提案は、各地 方自治体の引き上げの実態を勘 案したもの」

南スーダンへの自衛隊派遣やめよ

庄司議員「霞目駐屯地に所属する息子をもつ男性が『無事に帰ってくることを願う』と話している。仙台からも派遣されており、市長も他人事でいることは許されない。自衛隊は撤退させるよう国に声をあげるべきだ」

奥山市長「今回の国連平和維持活動は、適切に行われ求められている役割りを果たされることを願っている」